学校が再開したら・・その㉑

久しぶりの登校日！

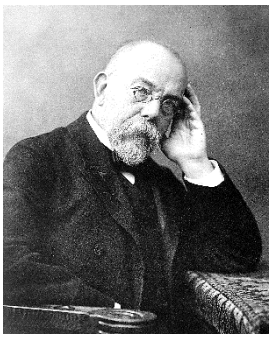
久しぶりに学校でみなさんの声を聞くことができました。６月１日からの分散登校に向けて、各学級半分の生徒が登校してきたわけですが、それでもやっと学校らしくなった気がします。

みなさんの登校に備えて、生徒玄関や教室の入り口には消毒液が用意されていましたが、うまく活用できたでしょうか。自分でも手洗いを進んで行うことはできたでしょうか。学校再開後も、手洗い・消毒に心がけ、ウイルスを持ち込まないように努めていきましょう。

細菌やウイルスなんて目に見えないものを、人はどのように見つけて、どんな命や健康を守るための方法を考えてきたのでしょうか。今日はその歴史から出題！

Ｑ１．紀元前３０００年ごろのエジプトでは、細菌の働きを利用して収穫した麦からあるものをつくっていました。それは何でしょう。

答え：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿



Ｑ２．１８７６年に炭そ菌、１８８４年にコレラ菌を発見するなどして、「近代細菌学の開祖」と呼ばれる、右の写真の人物（ドイツ人）はだれでしょう。

答え：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Ｑ３．１８９０年、傷口から菌が感染すると硬直性のけいれんを引き起こす「破傷風」の治療法を開発した日本人はだれでしょう。

答え：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Ｑ４．黄熱病等を研究し、現在、千円札に肖像画が載っている日本人はだれでしょう。彼の母親は当時流行したスペイン風邪にかかっていました。

答え：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

細菌、再放送がよく流れています。その中のひとつで、『JIN−仁−』というドラマを見ていると、現代ほど医療知識や技術がなかった時代は本当に大変だったと感じます。今は、みなさんもいろいろな専門家の意見なども聞く機会があります。これからも正しい情報を得て、正しいコロナ対策を進め、安全に学校再開をしたいですね！